

DoJa-2.xプロファイル対応モード携帯電話 各種オプションAPI・拡張API実装状況 第 2.3 版

＜アプリ基本パッケージ内に追加されているオプションAPI・拡張API＞

[illegible]

com.nttdocomo.ui.Display	概要	種別	N504i	S0504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N2051	N2701	F2051	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
static int KEY_LOWER_LEFT	左下キー	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int KEY_LOWER_RIGHT	右下キー	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int KEY_PAGE_DOWN	ページダウンキー	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int KEY_PAGE_UP	ページアップキー	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int KEY_UPPER_LEFT	左上キー	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int KEY_UPPER_RIGHT	右上キー	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int POINTER_MOVED_EVENT	ポインティングデバイスの操作開始イベント	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	●	×	●	

com.nttdocomo.ui.Font		概要	種別	N504i	SO504iS	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
static int FACE_MONOSPACE	モノスペースフォント	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int FACE_PROPORTIONAL	プロポーショナルフォント	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int FACE_SYSTEM	システムフォント(デフォルトのフェース)	基本	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
static int SIZE_LARGE	ラージサイズ	オプション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	具体的なサイズは機種により異なります。
static int SIZE_MEDIUM	ミディアムサイズ(デフォルトのサイズ)	基本	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12ドットフォントとなります。
static int SIZE_SMALL	スモールサイズ	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	具体的なサイズは機種により異なります。
static int STYLE_BOLD	ボールドスタイル	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	
static int STYLE_BOLDITALIC	ボールドイタリックスタイル	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	
static int STYLE_ITALIC	イタリックスタイル	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	
static int STYLE_PLAIN	プレーンスタイル(デフォルトのスタイル)	基本	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
static int TYPE_DEFAULT	デフォルトフォント	基本	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
static int TYPE_HEADING	見出し用フォント	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	

com.nttddocomo.ui.Graphics		概要	種別	N504i	S0504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N2051	N2701	F2051	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
void clearClip()		現在設定されているクリッピング領域を解除する。	オプション	●	●	X	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
void clipRect(int x, int y, int width, int height)		引数によって指定された矩形と現在のクリッピング領域の重なり合った部分を新たなクリッピング領域として設定する。	オプション	X	●	X	●	●	X	●	●	X	X	●	X	X	●	●	
void copyArea(int x, int y, int width, int height, int dx, int dy)		引数で指定された矩形領域の描画内容を、dxだけ右、dyだけ下に離れた位置にコピーする。	オプション	●	●	X	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
void lock() ... Canvasへの描画		グラフィックスコンテキストのダブルバッファリングを開始する。	オプション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
void lock() ... Imageへの描画		グラフィックスコンテキストのダブルバッファリングを開始する。	オプション	X	●	X	X	X	X	X	X	X	X	●	X	X	●	●	
void setClip(int x, int y, int width, int height)		引数によって指定された矩形をクリッピング領域として設定する。	オプション	●	●	X	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
void unlock() boolean b) ... Canvasへの描画		グラフィックスコンテキストのダブルバッファリングを終了する。	オプション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
void unlock() boolean b) ... Imageへの描画		グラフィックスコンテキストのダブルバッファリングを終了する。	オプション	X	●	X	X	X	X	X	X	X	X	●	X	X	●	●	

[illegible][illegible]

＜オブションパッケージに新設されたオブションAPI・拡張API＞

Com.nttdocomo.opt.ui.AudioPresenter2	概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N2051	N2701	F2051	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
static int KEY_SHIFT	音階シフト量を表す属性	オプション	●	●	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	×	●	MFi/Phraseと併用することはできません。
static int LOOP	ループ回数を表す属性	オプション	●	×	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	×	●	
static int PANPOT	パンポット (音の左右の定位) を表す属性	オプション	●	×	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	×	●	MFi/Phrase使用時のみ使用することができます。
static int TEMPO	テンポの変化量を表す属性	オプション	●	●	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	×	●	MFi/Phraseと併用することはできません。
static int TRACK_ASSIGNMENT	AudioPresenterオブジェクトをMFi/Phraseの特定のトラックに関連付けることを指示するための属性	オプション	●	×	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	×	●	
static int VOLUME	ボリュームを表す属性	オプション	●	×	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	×	●	

com.nttdocomo.opt.ui.Camera	概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N2051	N2701	F2051	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
static int ATTR_CONTINUOUS_SHOT_OFF	連写モードで、連写オフを表す属性値	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	●	×	×	●	●	
static int ATTR_CONTINUOUS_SHOT_ON	連写モードで、連写オンを表す属性値	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	●	×	×	●	●	
static int ATTR_QUALITY_HIGH	撮影画質で、高画質を表す属性値	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	
static int ATTR_QUALITY_LOW	撮影画質で、低画質 (サイズ優先) を表す属性値	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	
static int ATTR_QUALITY_STANDARD	撮影画質で、標準画質を表す属性値	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	
static int ATTR_VOLUME_MAX	マイク入力音量で、最大を表す属性値	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	
static int ATTR_VOLUME_MIN	マイク入力音量で、最小 (ミュート状態) を表す属性値	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	
static int DEV_CONTINUOUS_SHOT	連写モードを表す属性	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	×	×	×	●	●	
static int DEV_QUALITY	撮影画質を表す属性	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	
static int DEV_SOUND	マイク入力音量を表す属性 (ATTR_VOLUME_MINからATTR_VOLUME_MAXまでの値を)	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	
void disposeImages()	カメラオブジェクト内の全ての撮影画像を破棄する。	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
int getAttribute(int attr)	指定された属性の属性値を返す。	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
static Camera getCamera(int id)	idで指定されたカメラデバイスに対応するカメラオブジェクトを生成する。	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
MediaImage getImage(int index)	カメラオブジェクト内の、指定されたインデックスに対応する撮影画像からメディアイメージを生成する。	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
long getImageLength(int index)	カメラオブジェクト内の、指定されたインデックスに対応する撮影画像のデータサイズを	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
InputStream getInputStream(int index)	カメラオブジェクト内の、指定されたインデックスに対応する撮影画像を入力ストリームとして返す。	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
long getMaxImageLength()	動画撮影可能なカメラオブジェクトにおいて、撮影可能な最大データサイズを返す。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	
int getNumberOfImages()	カメラオブジェクト内に保持されている撮影画像数を返す。	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
boolean isAvailable(int attr)	指定された属性をsetAttribute()で制御可能か否かを返す。	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
void setAttribute(int attr, int value)	指定された属性に、指定された属性値を設定する。制御不可能な属性が指定された場合は無視される。	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
void setImageSize(int width, int height)	撮影画像の画像サイズを設定する。指定されたそのままのサイズがカメラデバイスでサポートされていない場合は、指定サイズが収まる最も小さな画像サイズで撮影される。また、指定されたそのままのサイズがカメラデバイスでサポートされている最大サイズを超えている場合は、カメラデバイスでサポートされている最大の画像サイズで撮	オプション	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
void takeMovie()	カメラ機能を動画撮影モードで呼び出す。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	
void takePicture()	カメラ機能を静止画撮影モードで呼び出す。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	

[illegible]

void setFlipMode(int flipmode)	イメージの描画時に反転処理を行うかどうかを設定する。	オプション	X	●	X	●	X	X	●	X	X	X	X	X	●	●	
void setPixel(int x, int y)	指定された座標位置に点を描画する。	オプション	X	X	X	●	X	X	●	X	X	X	X	X	●	●	
void setPixel(int x, int y, int color)	指定された座標位置に、指定された色で点を描画する。	オプション	X	X	X	●	X	X	●	X	X	X	X	X	●	●	
void setRenderMode(int operator, int srcRatio, int dstRatio)	レンダリング時の演算方法 (ラスターオペレーション) を設定する。	オプション	X	●	X	●	X	X	●	X	X	X	X	X	●	●	

com.nttddocomo.opt.ui.ImageMap	概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
ImageMap(int cellWidth, int cellHeight)	コンストラクタ。セルの幅と高さをドット単位で指定してイメージマップを生成する。	オプション	●	●	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	●	●	
ImageMap(int cellWidth, int cellHeight, int mapWidth, int mapHeight, byte[] data, Image[] images)	コンストラクタ。セルの幅と高さ、マップの幅と高さ、マップデータとイメージデータで指定してイメージマップを生成する。	オプション	●	●	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	●	●	
void moveWindowLocation(int dx, int dy)	イメージマップ中のウィンドウの位置を、サイズはそのままにdx, dyだけ離れた位置に移動する。	オプション	●	●	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	●	●	
void setImageMap(int mapWidth, int mapHeight, byte[] data, Image[] images)	マップの幅と高さ、マップデータとイメージデータを指定してイメージマップを初期化する。	オプション	●	●	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	●	●	
void setWindow(int x, int y, int width, int height)	ウィンドウ領域の位置とサイズを設定する。	オプション	●	●	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	●	●	
void setWindowLocation(int x, int y)	イメージマップ中のウィンドウの位置を、サイズはそのままに(x,y)の位置に変更する。	オプション	●	●	×	×	×	●	×	×	●	●	×	●	●	●	●	

[illegible][illegible][illegible][illegible]

static int ATTR_VOLUME_MAX	Xロディ・効果音・マイクの音量で、最大を表す属性値	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int ATTR_VOLUME_MIN	Xロディ・効果音・マイクの音量で、最小(ミュート状態)を表す属性値	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
static int DEV_DISPLAY_BRIGHTNESS	ディスプレイの明るさを表す属性 (ATTR.BRIGHTNESS_MINからATTR.BRIGHTNESS_MAXまでの値を設定)	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_DISPLAY_CONTRAST	ディスプレイのコントラストを表す属性 (ATTR.CONTRAST_MINからATTR.CONTRAST_MAXまでの値を設定)	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_I_LIGHT	背面ライトの点灯色を表す属性 (ATTR.I_LIGHTで始まる属性値を設定)	オプション	×	●	×	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	設定のみ可能なリソースです。
static int DEV_ILLUMINATION	背面LCDのバックライトの点灯色を表す属性 (ATTR.ILLUMINATIONで始まる属性値を設定 ATTR.ILLUMINATION.GRADUALLYとの論理和を取ったものを指定するとバックライトが徐々に明るくなる)	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	設定のみ可能なリソースです。
static int DEV_INDICATOR_BACKGROUND	インジケータとソフトキーの背景色を表す属性 (Graphics.getColorOfRGB()が返す値を)	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_KEY_SLANT	斜めキーのオンオフ設定を表す属性 (ATTR.KEY_SLANTで始まる属性値を設定)	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_MELODY_VOLUME	Xロディの音量を表す属性 (ATTR.VOLUME_MINからATTR.VOLUME_MAXまでの値を)	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_MEMO_LED	XMELEDの点灯設定を表す属性 (ATTR.MEMO_LED_ON、ATTR.MEMO_LED_OFFまたはGraphics.getColorOfRGB()が返す値を設定)	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_MIC_VOLUME	マイクの音量を表す属性 (ATTR.VOLUME_MINからATTR.VOLUME_MAXまでの値を設	オプション	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_SE_VOLUME	効果音の音量を表す属性 (ATTR.VOLUME_MINからATTR.VOLUME_MAXまでの値を	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_SUBDISPLAY_BRIGHTNESS	サブディスプレイの明るさを表す属性 (ATTR.BRIGHTNESS_MINからATTR.BRIGHTNESS_MAXまでの値を設定)	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。
static int DEV_SUBDISPLAY_CONTRAST	サブディスプレイのコントラストを表す属性 (ATTR.CONTRAST_MINからATTR.CONTRAST_MAXまでの値を設定)	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	参照と設定が可能なリソースです。

com.nttdocomo.opt.ui.PointingDevice		概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
static int getX()		ポインタの画面上でのX座標を返す。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	●	×	●	
static int getY()		ポインタの画面上でのY座標を返す。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	●	
boolean isAvailable()		端末ネイティブの設定で、ポインティングデバイスが使用可能となっているかどうかを返	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	
static boolean isEnabled()		ポインティングデバイスからのイベントを受け取ることができる状態かどうかを返す。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	●	×	●	
static void setEnabled(boolean b)		ポインティングデバイスからのイベント通知を受けるか否かを設定する。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	●	
void setPosition(int x, int y)		ポインタの画面上での表示位置を設定する。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	
void setVisible(boolean b)		ポインタを画面上に表示するかどうかを設定する。	オプション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	

com.nttdocomo.opt.ui.Sprite		概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
Sprite(Image image)		コンストラクタ。イメージを指定してスプライトを生成する。	オプション	●	●	×	●	×	×	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
Sprite(Image image, int x, int y, int width, int height)		コンストラクタ。イメージの一部の領域を指定してスプライトを生成する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	
int getHeight()		スプライトの高さを取得する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	
int getWidth()		スプライトの幅を取得する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	
int getX()		スプライトを表示する位置のX座標を取得する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	
int getY()		スプライトを表示する位置のY座標を取得する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	
boolean isVisible()		スプライトが可視かどうかを取得する。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
void setFlipMode(int flipMode)		スプライトの描画時に反転処理を行うかどうかを設定する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	
void setImage(Image image)		スプライトのイメージを設定する。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
void setImage(Image image, int x, int y, int width, int height)		スプライトのイメージとして、イメージの一部の領域を設定する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	
void setLocation(int x, int y)		スプライトを表示する位置を設定する。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
void setRenderMode(int operator, int srcRatio, int dstRatio)		レンダリング時の演算方法 (ラスタオペレーション) を設定する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	
void setVisible(boolean b)		スプライトの可視・非可視状態を設定する。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	

com.nttdocomo.opt.ui.SpriteSet		概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
SpriteSet(Sprite[] sprites)		コンストラクタ。Sprite配列を指定してスプライトセットを生成する。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
int getCollisionFlag(int index)		indexで指定されたスプライトの衝突判定フラグを取り出す。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
int getCount()		スプライトの数を返す。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
Sprite getSprite(int index)		indexで指定されたスプライトを返す。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
Sprite[] getSprites()		スプライトセットに設定されているSprite配列を返す。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
boolean isCollision(int index1, int index2)		指定された2つのスプライトが衝突しているか否かを返す。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
void setCollisionAll()		全てのスプライトの衝突判定処理を行う。全てのスプライトに対してsetCollisionOff()を呼び出すことと同義。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
void setCollisionOff(int index)		indexで指定されたスプライトについて衝突判定処理を行ってその結果を保持する。結果は後でgetCollisionFlag()を使用して取り出す。	オプション	●	●	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	●	●	

com.nttdocomo.opt.ui.SubDisplay		概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
static int getHeight()		スクリーンの高さを取得する。	オプション	×	×	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	×	●	
static int getWidth()		スクリーンの幅を取得する。	オプション	×	×	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	×	●	
static boolean isColor()		カラー対応が否かを取得する。	オプション	×	×	×	●	×	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	
static int numColors()		サポートする色数 (カラー非対応の場合はグレーレベルの数) を取得する。	オプション	×	×	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	×	●	
static void setImage(Image image)		スクリーンにイメージを設定する。	オプション	×	×	×	●	×	●	●	×	●	●	×	●	●	×	●	

com.nttdocomo.opt.ui.TransparentImage	概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
static TransparentImage createTransparentImage(Image image)	通常のイメージから透明色を持つイメージを生成する。初期状態では透明色は持たない。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	●	
Graphics getGraphics()	TransparentImageに対し、getGraphics()を呼び出すことはできない。TransparentImageに対してこのメソッドを呼び出すと、UnsupportedOperationExceptionが発生する。	-----	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
void setTransparentColor(int color)	透明色を指定する。Graphics.getColorOfRGB()の返す値を設定する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	●	
void setTransparentEnabled(boolean b)	透明色を使用するか否かを設定する。	オプション	×	●	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	●	

高レベル3Dグラフィックス描画機能のクラス/メソッド	概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
com.nttdocomo.opt.ui.j3d.Mathクラスの atan2(int x, int y)を除く全クラス・メソッド・	高レベル3Dグラフィックス描画機能	拡張	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
com.nttdocomo.opt.ui.j3d.Mathクラスの atan2(int x, int y)メソッド	高レベル3Dグラフィックス描画機能	拡張	×	●	●	●	●	×	●	●	×	×	●	×	×	●	●	

低レベル3Dグラフィックス描画機能のクラス/メソッド	概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
全クラス・メソッド・フィールド	低レベル3Dグラフィックス描画機能	拡張	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	

2Dアニメーション描画機能のデータ形式	概要	種別	N504i	SO504i	D504i	P504i	F504i	N504iS	P504iS	F504iS	N205i	N270i	F205i	P2102V	N2102V	F2102V	Emu	備考
E-アニメータ形式	E-アニメータ形式のアニメーションデータをVisualPresenterで再生する。	拡張	●	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	

- ※ エミュレータ欄での×印はエミュレート機能が実装されていないことを示しており、コンパイルは可能です。
- ※ エミュレータには504iS版とFOMA版の2つがあります。エミュレータ欄に●印が付いている場合、必ずしも両方のエミュレータにその機能が実装されているとは限りません。例えば、504iSのどの機種でもサポートされていないオプション機能は504iS版エミュレータには搭載されていない場合があります (FOMAに関しても同様) のでご注意ください。

